

ヤギ・メンヨウに発生したヨーネ病の発生について

昨年 11 月 19 日(木)のヨーネ病(家畜伝染病)発生に伴い、隔離飼育中のヤギ 4 頭、メンヨウ(羊) 9 頭(うち 2 頭処分済)について、これまでに定期的な 2 回の検査(3 ヶ月に 1 回)を実施してきたところですが、3 月 23 日(火)、4 月 6 日(火)、4 月 20 日(火)に、北海道石狩家畜保健衛生所においてモニタリング検査(血液検査(CF 検査)、2 週間に 1 回)を実施した結果、新たにメンヨウ 4 頭が「患畜」と診断されました。

これらの結果を踏まえ、当園では、「患畜」となった以外のメンヨウ、トカラヤギについても、動物の愛護を推進する動物園としては、苦渋の決断ではありますが、次の理由により、全頭処分する方針とし、対応を行いました。

(全頭処分を決定した理由)

- (1) 3 月 23 日以降実施してきた 3 回のモニタリング検査の結果、「疑似患畜」や「患畜」の発生により、メンヨウやヤギへのヨーネ病の感染が広がってきたこと。
- (2) 感染の広がりに伴い、園内で飼育中のマサイキリン、エランド、エゾシカ(偶蹄目反芻動物)への感染も危惧されること。
- (3) このあと、市内及び近郊の酪農業など農畜産業への影響が懸念されること(風評被害等)。

- ・ 4 月 27 日(火)から 5 月 11 日(火)までに、患畜(メンヨウ 4 頭)、疑似患畜(メンヨウ 2 頭)及びその他の個体(メンヨウ 1 頭、トカラヤギ 4 頭)計 11 頭を処分いたしました。
- ・ なお、ヨーネ病は、ウシやメンヨウ、ヤギなどの偶蹄目反芻獣の病気であり、人に感染する動物由来感染症(人獣共通感染症)ではありません。